

廿日市市景況調査報告

(2021年7～9月)

～業況DIは、緊急事態宣言延長の影響が続き、悪化。

先行きは、日常生活回復への期待感も、厳しさ続く～

1. 全体の概要

業種別景況 概要	全国(9月)		廿日市7～9月と先行き見通し									
	全産業		全産業		製造業		建設業		卸小売業		飲食・サービス業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	▲30.4	▲26.8	▲7.5	▲2.5	6.7	20.0	25.0	50.0	▲37.5	▲62.5	▲15.4	▲7.7
仕入価格	▲44.1	▲42.8	47.4	35.9	60.0	66.7	25.0	25.0	25.0	0.0	54.5	25.0
採算	▲34.4	▲33.3	5.0	2.5	6.7	13.3	50.0	50.0	▲12.5	▲37.5	0.0	0.0
雇用人員	10.1	12.5	▲23.1	▲17.9	▲13.3	▲13.3	▲75.0	▲75.0	▲25.0	▲12.5	▲16.7	▲8.3
業況	▲33.2	▲31.0	▲2.5	▲2.5	0.0	0.0	50.0	50.0	▲25.0	▲25.0	▲7.7	▲7.7

※ 全国調査は【日本商工会議所 LOBO 調査】をご参照ください

(対象 65 社 回答 40 社)

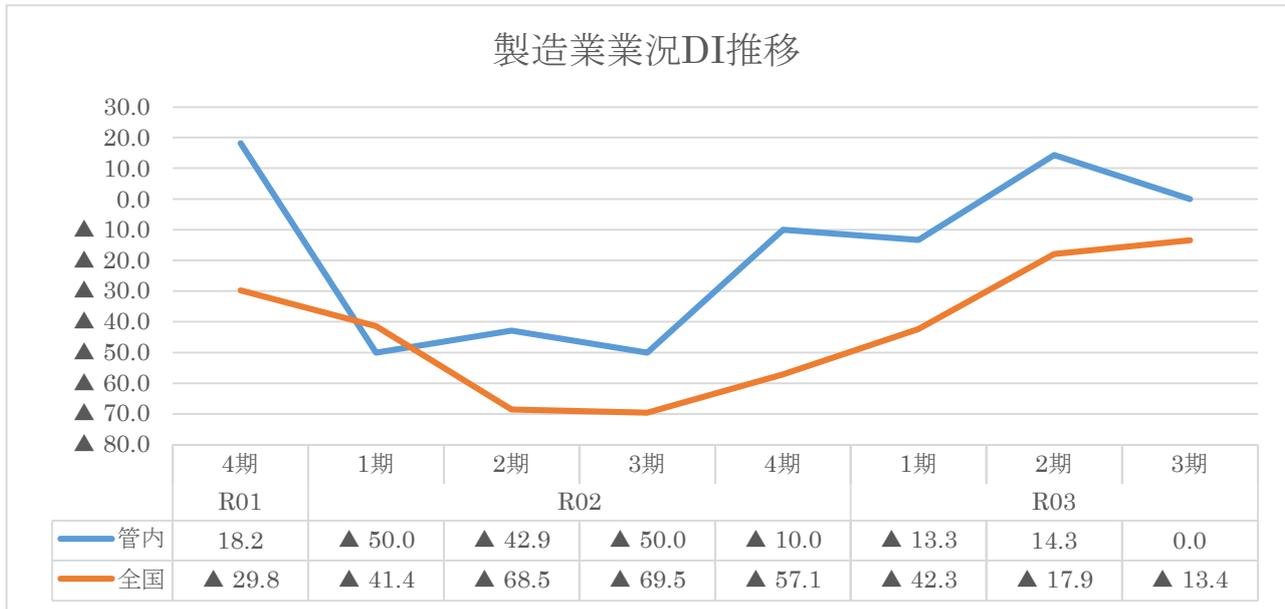
全産業合計の業況DIは、▲33.2(前月比▲3.8ポイント)。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間延長に伴う営業制限、イベント中止等の影響が続く中、客足が遠のく飲食・宿泊などのサービス業や小売業が悪化した。また製造業では、半導体不足や東南アジアでの感染拡大を背景とする部材調達難など生産活動への影響を指摘する声が聞かれた。公共工事に下支えされた建設業は底堅いものの、鉄鋼や木材などの原材料価格の上昇、天候不順による野菜価格の上昇が業況の押し下げ要因となるなど、中小企業の景況感は一段と厳しい状況にある。

【廿日市市の景況】

全産業合計の業況DIは▲2.5と前回調査(4～6月)から横這い。産業別では、卸小売業が前回値(▲22.2)から今回値(▲25.0)とマイナス幅が2.8、製造業は今回値0.0(前回値14.3)悪化した一方、飲食・サービス業では、前回値▲14.35から今回値7.7、建設業は今回値50.0で(前回値33.3)、と回復傾向にある。全業種にて仕入価格が高止まり(前回値56.8→今回値47.4)。また、全業種にて引き続き雇用人員不足が広がっており、先行きも不足が続く見込み。10～12月の先行き業況は▲2.5(前回値2.4)と減少傾向である。

2. 業種別推移

【製造業】



第1表 業種別生産指数（付加価値額ウェイト）

年・期・月	鉱工業	製造工業	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	一般機械工業(総合)	はん用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電気機械工業(総合)	電気・情報通信機械工業	電子部品・デバイス工業	輸送機械工業	窯業・土石製品工業
r 7月	87.4	87.4	100.0	77.9	71.1	103.3	70.0	98.3	84.4	124.8	81.1	138.4	66.1	87.7
p 8月	82.8	82.8	94.5	68.6	80.6	112.8	114.2	126.9	76.7	128.5	77.0	141.1	45.0	81.7
前月比(%)	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 5.5	▲ 11.9	13.4	9.2	63.1	29.1	▲ 9.1	3.0	▲ 5.1	2.0	▲ 31.9	▲ 6.8

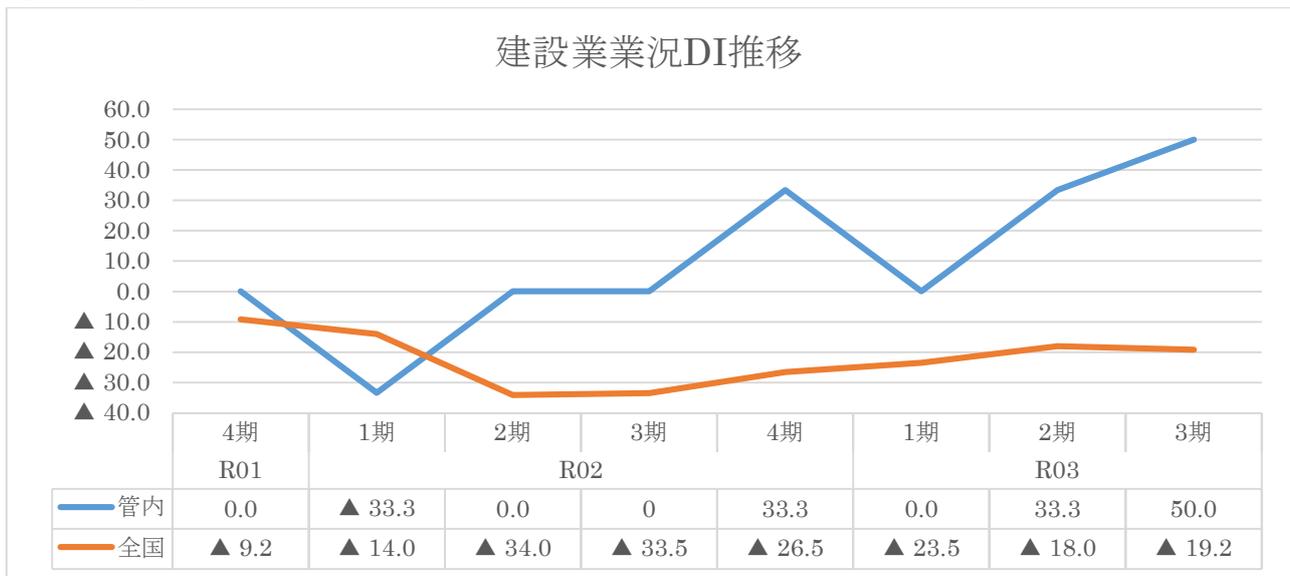
化学工業	プラスチック製品工業	パルプ・紙・紙加工品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	木材・木製品工業	ゴム製品工業	その他工業	家具工業	その他製品工業	鉱業	公益事業	産業総合	機械工業	自動車部門	造船部門
91.3	96.9	103.1	104.5	84.9	15.2	78.7	76.8	75.4	78.1	88.4	117.1	87.8	88.7	67.9	63.2
101.9	96.1	99.5	95.5	85.9	16.2	73.3	82.2	100.5	77.4	108.3	118.2	83.3	81.1	38.0	59.6
11.6	▲ 0.8	▲ 3.5	▲ 8.6	1.2	6.6	▲ 6.9	7.0	33.3	▲ 0.9	22.5	0.9	▲ 5.1	▲ 8.6	▲ 44.0	▲ 5.7

《広島県鉱工業活動動向 業種別生産指数（季節調整済）》※広島県ホームページより

管内における業況は前期の 14.3 から 0.0 へと悪化している一方、全国値は前期の▲17.9 から▲13.4 と若干の改善が見られる。しかしながら、いずれも前年同期と比較すると改善傾向にある。

また先行指数である業種別生産指数であるが、自動車部門で大きく数値を下げており、自動車業界にとっては厳しい状況であったことが伺える。

【建設業】



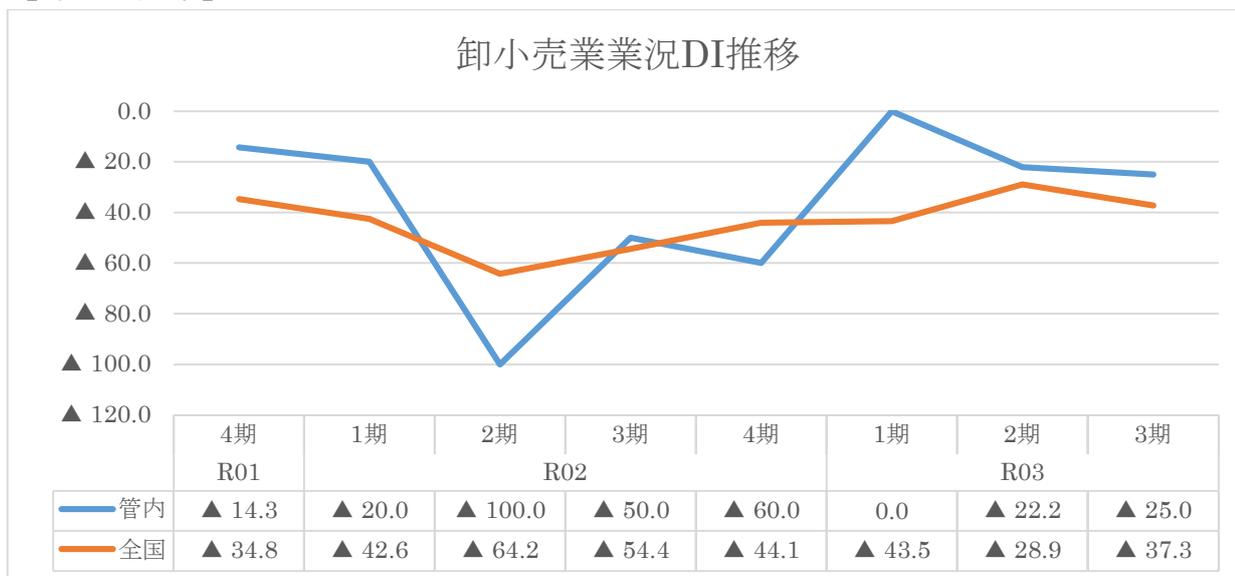
広島県 新設住宅着工戸数 (速報値) (令和3年9月分)														広島県土木建築局建築課	
														作成日 令和3年10月29日	
	合計	持家	貸家	給与	分譲	戸建	長屋建	共同建	木造	SRC	R C	鉄骨造	C B	その他	
県計	1,580	494	747	1	338	768	123	689	985	0	225	369	0	1	
廿日市市	99	27	53	0	19	46	3	50	98	0	0	1	0	0	

広島県 新設住宅着工戸数対前年比較表 (令和3年9月分)											
(単位：戸，%)											
	合計	対前年比	持家	対前年比	貸家	対前年比	給与	対前年比	分譲	対前年比	
県計	1,580	3.1	494	12.3	747	60.0	1	0.0	338	-45.8	
廿日市市	99	83.3	27	22.7	53	165.0	0	—	19	58.3	

管内の建設業の業況DIは、前期の33.3から50.0へと改善、一方全国値も前期の▲18.0から▲19.2とほぼ横ばい状況で、概ね建設業界は安定していることが見受けられる。

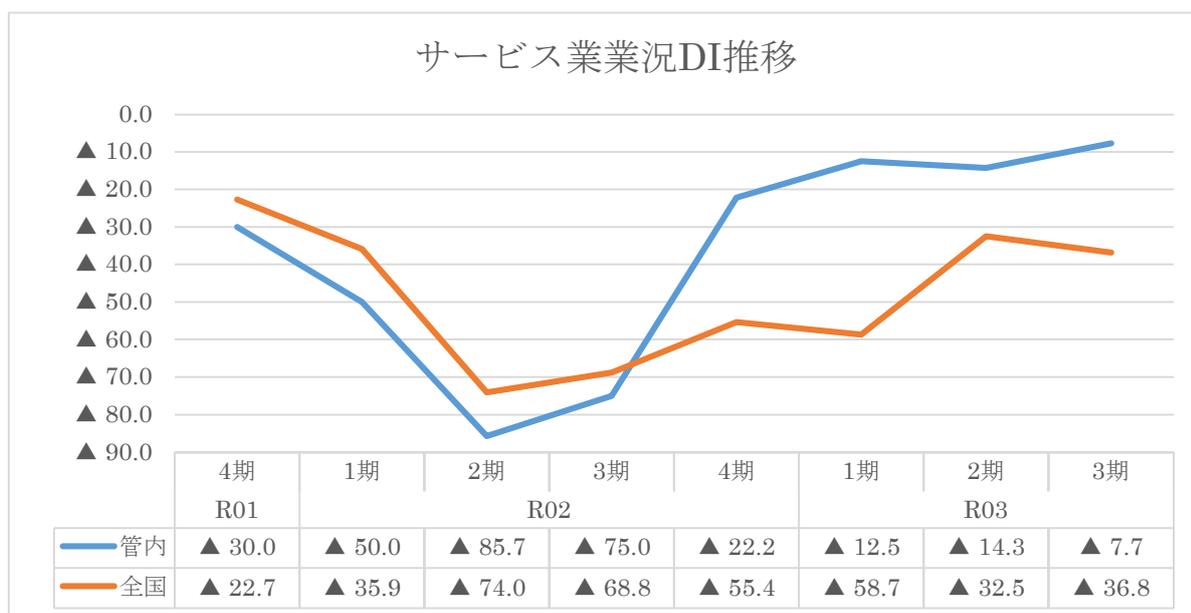
また、先行指数である新設住宅着工件数をみると、廿日市市内は持家、借家、分譲など対前年比増加となっており、先述の業況の好調さを裏付けている。

【卸・小売業】



管内の業況は前期の▲22.2 から▲22.5 へ若干の悪化、全国値は前期の▲28.9 から▲37.3 と悪化となっており、緊急事態宣言等も含めた新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることが見受けられる。

【飲食・サービス業】



管内の業況は、前期▲14.3 から▲7.7 と若干の改善、全国値は▲32.5 から▲36.8 と若干の悪化とほぼ横ばい回復傾向にある。こちらも新型コロナウイルス感染症の影響等もあり厳しい状況が続いている。

3. 今月のトピック

広島労働局プレスリリースより

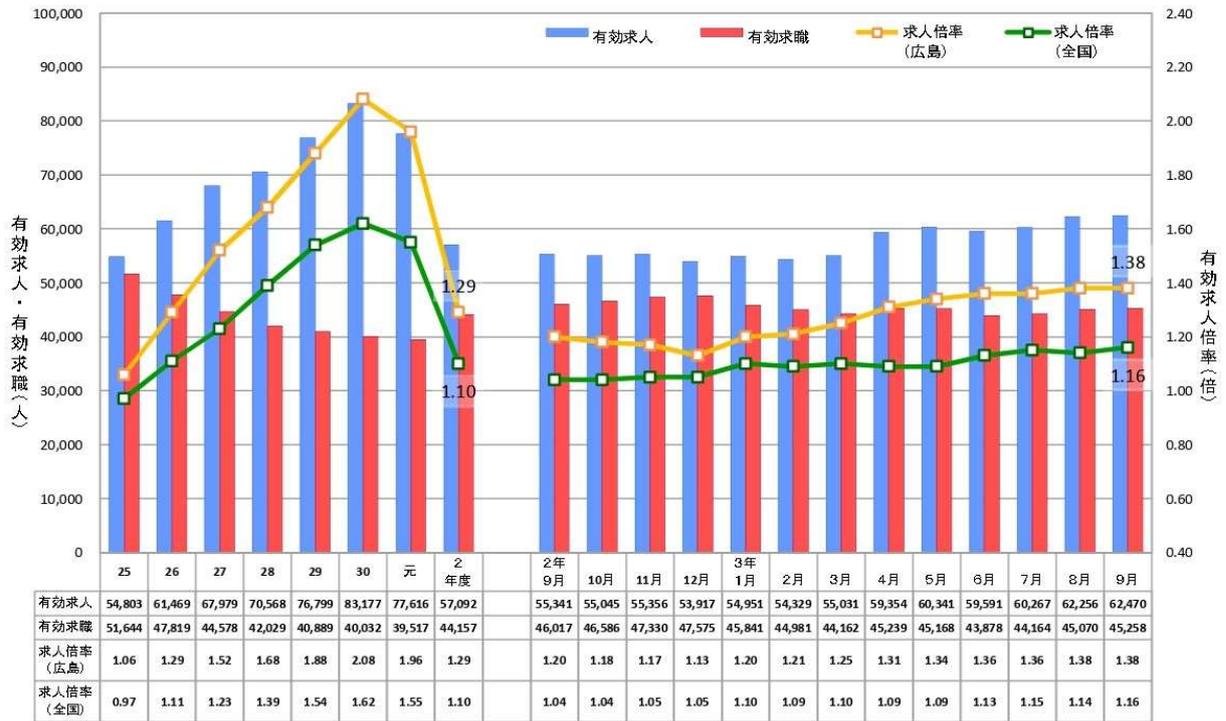
<令和3年9月の雇用情勢の概況（学卒を除き、パートを含む。）>

有効求人倍率（受理地別・季節調整値）は1.38倍となり、前月と同水準となった。

(1) 有効求人数（季節調整値）は62,470人で、前月と比べ0.3%増加し、3か月連続で増加。

(2) 有効求職者数（同）は45,258人で、前月と比べ0.4%増加し、3か月連続で増加。

① 有効求人・求職と有効求人倍率の推移（受理地別・季節調整値）



① 有効求人・有効求職者数、有効求人倍率（職業計、原数値）

年月	フルタイム			パートタイム		
	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
令和3年9月	34,514	27,005	1.28	21,322	17,768	1.20
	対前年同月差	対前年同月差	対前年同月差	対前年同月差	対前年同月差	対前年同月差
	3,877	▲ 861	0.18	1,221	174	0.06

② 職業別有効求人・有効求職者、有効求人倍率（原数値）



(注) 1 職業は、上から常用フルタイム求人の多い順に並べている。
2 「求人数の差」及び「求職者数の差」の欄は、前年同月との差である。

